

遠野じんぎすかんマラソン 8月27日

高速釜石道の工事の為中止になっていたハーフの久しぶりの復活です。そのためか、出走者も多く500名ほどの人数でした。新コースは釜石方面へポップ畑や山並みを見ながら走る、気持ちの良いコースでした。

記録

ハーフ 菅原 孝一 1:47:19
5 K 庄子 裕之 22:31

菅原 孝一 記

遠野じんぎすかんマラソン
スタートダッシュ
(大会ホームページより)



会津磐梯山に行ってきました

年金者組合山の会では月1の割合で山登りを楽しんでいます。8月23~24日には一関から6人東京から3人で福島県会津磐梯山に行ってきました。

23日一関から高速道を利用し3時間。11時半浄土平に到着。お昼には早かったが駐車場の一角で昼食。



ガスの切れ間に五色沼



会津磐梯山へ登山開始

8月月間MVP

順位	名前	8月	累計	累計順位
1	須藤 正男	315	2347	1
2	大越 昭夫	284	1717	3
3	小野寺卓司	208	1706	4
4	菅原 孝一	199	1730	2
5	佐藤 文政	178	1202	8
6	畠山真佐美	157	1569	6
7	浅沼 善治	120	1194	9
8	平澤 和則	113	665	13
9	関野 吉美	112	1043	10
10	小嶋 哲郎	90	746	12
11	佐藤 東	88	781	11
12	菅原 楯夫	80	625	14
13	金田真太郎	49	437	16
14	成田 頼大	44	611	15
15	庄子 裕之		1653	5
16	小野寺知夏		1250	7
17	千葉 健一		108	17

第1回富良野トレイルラン 9月10日

北海道のへその位置にある富良野市のトレイルラン10Kに参加しました。昨年は中標津のハーフマラソンでしたが、今年は富良野市マラソンを兼ねて旅行を楽しみました。一関から札幌~旭川(泊り)~美瑛~富良野(泊り)~旭川(泊り)~稚内(泊り)~札幌~一関の行程で。

旭山動物園、美瑛の丘、富良野ワイン工場・チーズ工場、ラベンダー畑、宗谷岬・ノシャップ岬など巡ってきました。

トレイルランは予想以上に険しいコースでした。富良野西岳登山コース沢ありロープウェイ山頂駅を通り山頂の岸壁より尾根(走行禁止)を降りながらスキーゲレンデを真下に下るというコースでした。

朝はどしゃ降り道は滑りやすく、道に迷う箇所もあり、きちんとガイドを受けて参加しなければいけないと思いました。山頂からの眺望は東京山手線が入る広大な絶景です。

日本100名山に登山している人に会い100番目の登山を9時間かけて登るという話を聞きました。

山とマラソンの好きな人にはトレイルランがうってつけなのでしょうか。



B1 グルメのオムカレー

大会の後はサイクリングで市内観光し疲れた体を、富良野市のB1グルメのオムカレーで満たされました。1080円でお腹を満たしてくれるので、皆さんにもご賞味いただきたいと思います。

須藤 正男 記

初日の計画では鎌沼方面の散策でしたが、五色沼を見たいとのことと雨を覚悟で一切経山を目指しました。浄土平湿原にはアキノキリンソウ、オヤマリンドウなどが咲いていました。ガスが濃くなるも切れ目に釜沼を横目に一切経山(1948.8M)にモクモク迎いました。

13時20分一切経山頂着。ガスで何も見えないが、念のため五色沼の見える所に移動する。しばし待ってみるが風はあるものの変化はなく「帰ろう」と言ったとたん、ついにガスが切れ五色沼が顔を出した。全員感激の一瞬、写真を撮る。念願が叶い満足して下山開始。

15時10分登山口着。今宵の宿泊先磐梯国民休暇村に向う。宿泊先で東京の3人と合流、18時から大宴会で交流を深め明日の天気祭り就寝。

24日会津磐梯山を目指す。

朝食をとっていると磐梯山の8合目付近まで見えている。これなら今日の山行は良いと思いながらバイキングの朝食をとる。

8時宿を出発コンビニで昼食の調達。八方台登山口に向けて走っていると、雨粒がポツリポツリ。今日も降ったりやんだりだろうと楽観的に思っていたが、八方台では小雨が降りっぱなし。

8時50分雨対策し登山開始、10分程すると本降りとなり全員カッパを着る。中ノ湯跡に着く頃には靴が泥だらけ、東京からの1人が靴底がはがれるアクシデント。まだ進むかと確認をとると、弘法清水までは行きたいとのこと、大きめの石がゴツゴツ多く出てきて段差も厳しく展望も効かない中、モクモク進み11時やっと弘法清水に到着。

ここから山頂まで20分とのことだが、山頂行きを諦める。奥の売店小屋は新築された様子。毎日通って来るという伯母さんに「中で休んで下さい」と誘われ、雨宿りしながら昼食をとる。ビール・なめこ汁・カップラーメンを売っていました。

楽しく昼食時間を過ごし、11時30分下山。13時近く無事登山口着。ここで東京からの山の仲間と別れ夫々帰路へ。

浅沼 善治 記